

一般質問

「ここが聞きたい これを言いたい」

一般質問は、議員の日常活動と調査・研究、町民の声や自身の考え方をもとに、町長や教育長などの方針を問うものです。



8議員が登壇

町政を問う

質問者、答弁者それぞれ30分以内の制限時間。
議会だよりでは、質問と答弁を要約しています。

一般質問事項

質問者	件名	頁
酒向 弘康	1 郡のない愛知県幸田町の可能性 2 「声のポスト」回答の公開を	7
丸山千代子	1 中小企業振興基本条例の制定を 2 若者支援の給付型奨学金創設を 3 国保税の引き下げを	8
伊藤 宗次	1 国保県移行で国保税減免拡充を 2 悪代官の関所行政改めよ	9
志賀 恒男	1 県道蒲碧線の地権者説明会は 2 女性起業支援の数値目標は	10
水野千代子	1 「手話言語条例」の制定を 2 乳がんチェックシートの導入を	11
中根 久治	1 指定文化財に対する町の姿勢 2 学区公共施設で文化財展示を	12
伊與田伸吾	1 公園管理を地域住民に任せては 2 町内建設業者の育成の考えは	13
池田 久男	1 河川の浚渫対策は 2 水位路面標示の設置拡大を	14

※質問の内容は2件までを掲載しています。

一般質問



酒向 弘康 議員

問 郡のない愛知県幸田町の可能性

答 全国的な議論の発展が必要



イメージアップ戦略でオンリーワンのまちづくりに期待

問 本町のイメージアップ戦略で地域資源を生かした取り組みは。

答 **企画部長** 農産物、工業製品、歴史的遺産など、それぞれの部署ですめている。

問 筆柿を名実とも「全国ブランド」にするための戦略は。

答 **環境経済部長** 毎年、初出荷などの様子をテレビや新聞などで紹介している。また、筆柿羊かんなどの加工品開発

や、樹齢300年の通称長寿柿を無料配布している。

問 「住んでみたい、行ってみたい」という移住促進や交流人口増加など、シティープロモートの現状は。

答 **企画部長** ホームページや広報誌、ケーブルテレビ番組などで情報発信している。

問 地名もイメージアップにつながる。「郡」のない「愛知県幸田町」

の可能性はあるか。

答 現行制度では困難。全国的な議論の発展が必要。

問 町長は、県町村会会長、全国町村会副会長。会議などで、この話題を取りあげ機運が盛り上がることを期待したい。

答 **町長** 全国の方に、一度聞いてみたい。

問 「声のポスト」回答の公開を

答 公開基準なども整備し検討

問 本町の「住民の声」を吸い上げるツールとその活用の現状は。

答 **企画部長** 声のポスト、メール、町政モニター会議、住民意識調査などで、政策の意思決定にはパブリックコメントを活用。

問 意見や要望の声は、どれくらい届き、その回答は、どうしているのか。

答 平成28年度は、声のポ

スト24件、メール206件で、担当課に紹介して回答。町政モニター会議の意見と回答は、ホームページにも掲載。

問 2年に1度実施している住民意識調査の結果を次につなげ、軌道修正のためのPDCA※をどのように回しているのか。

答 調査結果を報告するに留まっている。

問 どの自治体も取り組んでいる「御意見箱」の近隣の状況は。

答 西三河では6市が公表。本町の役場庁舎1階ロビーに、設置してある「声のポスト」の声に対し、回答を広報公開していく考えは。

答 公開基準なども整備し検討。

※PDCAとは、計画↓実行↓評価↓改善のサイクルで継続して行い、業務の質の向上を図る。